

八尾市教育振興基本計画後期計画(素案)に対するご意見一覧

No	区分	頁	該当箇所	ご意見・ご質問の内容	【参考】第1回会議における担当課回答内容	ご意見・ご質問に対する回答／ 計画素案修正有無の考え方	計画素案の 修正の有無
1	第1回 会議	-	-	今まで取り組んできた3年間でどのような成果があったのか。	成果については、計画素案の第4章に記載しているが、コロナ禍の影響を受けて、教育環境が大きく変わってきているのは、特にICTの部分である。例えば、自宅から授業を受けることができる環境づくりや、各授業の中でも、紙の教材だけでは分かりづらかったところを、動画を用いて、より分かりやすく、身近に感じてもらえるようなICTを活用した教育を進めている。	-	-
2	第1回 会議	-	-	昔は地域で厳しく叱る大人が多かったが、今ではそうした存在が減っている。孫の授業参観で、教育の形式は自身の時代とあまり変わっておらず、海外では教育が進化していると感じている。発達障がいや教育の現状について再考が必要であり、現行の教育形態が全ての子どもに適しているとは限らない。特に、貧困のため、子どもがパソコンやタブレット、携帯を持つことができない家庭もある。さまざまな状況の中で、八尾市の子どもたちが未来に向けてどのように育つべきかを考えることが重要である。	-	-	-
3	意見 シート	-	-	「市長部局」という言葉は市民の皆さんにわかるのでしょうか。	-	市長部局とは市長の権限が及ぶ組織のことをいい、市長部局から独立した執行機関である教育委員会に対して、このような呼称を用いることが一般的であるため、計画書においては、現行どおりとさせていただきますが、委員のご意見を踏まえ、本計画の概要版の作成にあたっては、平易な言葉を使用したり、より分かりやすく親しみやすい表現を用いるなどとして、工夫してまいります。	なし
4	意見 シート	P21	1-3 豊かな心の育成 ・課題2点目	「学校司書」とありますが、現段階では試行的に1名配置されているだけ。P21の課題にある「現状の図書館サポーターによる配置体制の検討が必要」とは、図書館サポーターを学校司書に変えていくと捉えてよいのでしょうか。	-	令和6年度からは、小学校2校に各1名ずつ、学校司書のモデル的な配置がスタートしており、教科の中での関わりや、図書館の活用などで実践を積み、その中で、課題を整理し、拡充に努めてまいります。	なし
5	第1回 会議	P21・22 P31・32	1-3 豊かな心の育成 3-1 人生100年時代を見据えた生涯学習社会の実現	・居場所としての公共図書館の重要性が増しており、あわせて子どもたちが図書館を居場所として活用することが重要で、学校図書館の充実も必要である。学校司書のモデル配置がようやく進んできたので、効果検証を踏まえながら、公共図書館と学校図書館が連携していくことを方向性として示していただきたい。 ・図書館は、市民の生活に役立つ情報拠点という形で掲げている。しかしながら、市民は、図書館にそんなことを聞いていいのかと思っている方が割と多い。例えば、高齢者が認知症ではないかと思っても、いきなり保健所にいくのは難しいときに、図書館の人にこんな本はないかと聞いていただくだけで十分図書館は役に立つ。身近なところから、公共図書館を使っていたいただきたいが、それは子どものときから図書館を使うという習慣がついていることが重要で、そのような形をめざし連携していただきたい。	19ページの「確かな学力の育成」に記載しているが、本市の学力課題として、言語能力や情報活用能力の部分に課題があり、20ページの今後の方向性の2点目に「言語活動の充実」を記載している。これまでは各小学校、中学校にサポーターとして、有償ボランティアを配置してきたが、令和6年度からは、小学校2校で、学校司書のモデル的な配置がスタートしており、教科の中での関わりや、図書館の活用などで実践を積み、その中で、課題を整理し、拡充に努めていきたい。市立図書館との連携では、各学校で市立図書館の団体貸出しを活用することや、サポーターの研修の際に講師として市立図書館の司書に関わっていただいている。教育委員会としては、学校司書のモデル事業を進めながら、市立図書館との連携についても、さらなる連携をどうしていけるのか検討していきたい。	委員のご意見を踏まえ、「施策1-3 豊かな心の育成」における「今後の方向性」-「読書活動の推進」の1点目に、「市立図書館とも連携しつつ」という文言を追記します。【計画素案P22】 また、「施策3-1 人生100年時代を見据えた生涯学習社会の実現」における「今後の方向性」-「図書館サービスの充実」の4点目として、「子どもたちが図書館の役割を知り、生涯にわたって図書館を有効に活用できるよう、学校図書館との連携を進めます」を追加します。【計画素案P32】	あり
6	意見 シート	P21・22	1-3 豊かな心の育成	サポーターの配置は一定の役割を果たしてきましたが、2014年「学校図書館法」改正により、学校図書館の充実求められるのは司書教諭と共に重要な役割を果たす学校司書配置です。すでに学校司書を配置し、モデル学校図書館の効果検証が進められているのは、評価できます。 児童生徒が確かな学力や豊かな人間性を育み、生涯学び続ける能力を身につけるには、学校図書館の充実が欠かせないことは、文部科学省の施策にも明確です。学校図書館充実のために、資料と共に学校司書配置の財政的支援も措置されています。また「地方公共団体で、議論を行うことが重要です。(中略)教育行政の大綱に学校図書館の整備計画を位置づけることも有効である」と示唆されています。学校図書館充実が実現している自治体の事例をみますと、教育行政全体の中で、人材育成や資料の物流などの公共図書館との連携が重要であると考えます。 財政的にも大きな措置が必要なので、一度に進めるのは難しいかと思いますが、長期的な観点から、基本計画の中に明確に位置づけていただければ、と考えます。	-	市立図書館との連携については、各学校で市立図書館の団体貸出しを活用することや、サポーターの研修の際に講師として市立図書館の司書に関わっていただいています。教育委員会としては、学校司書のモデル事業を進めながら、市立図書館との連携についても、さらなる連携をどうしていけるのか検討してまいります。	あり

No	区分	頁	該当箇所	ご意見・ご質問の内容	【参考】第1回会議における担当課回答内容	ご意見・ご質問に対する回答／ 計画素案修正有無の考え方	計画素案の 修正の有無
7	意見 シート	P31・32	3-1 人生100年時代を見据えた生涯学習社会の実現	図書館が市民に親しまれる施設であるには、なにが必要かを図書館と常に議論しながら、考えていくことが大切だと思います。 “図書館が楽しい場”というのは大変大切だと思います。さらに重要なのは、地域や市民の課題の解決に向けて必要な情報を提供することです。 「よりよい図書館サービス提供するために、専門性と継続性が求められる司書の人材育成が求められています。」と記載されているので、是非とも公共図書館と学校司書の専門性を高められる組織体制を整えていただければと考えています。 現状の八尾市立図書館の人員体制をみますと、現場を担っている多くの人員は会計年度任用職員です。優秀で、誠実な仕事ぶりに感心しておりますが、不安定雇用の中では、結果的に市民サービスの質にも影響をします。この問題は日本社会全体の大きな懸念材料ですので、市政の中で一度に解決できるとは思いません。専門性と継続性が求められる図書館では、見過ごしにできない点であると考えますので、ひと言加えさせていただきます。	-	地域や市民の課題の解決に向けて必要な情報を提供することについては、今後の方向性「図書館サービスの充実」の1点目に記載しております。  令和5年に全国の地方公共団体の長に対して、公益社団法人日本図書館協会から「図書館非正規職員の処遇についてのお願い」「会計年度任用職員に関する提言」が送付されており、委員のご意見は認識しているところですが、市としての職員採用に関するご意見であり、本計画への反映は難しいと考えております。	なし
8	第1回 会議	P23・24	1-4 健やかな体の育成・今後の方向性「保健教育・食育の充実」	性の問題については、今後の方向性をもう少し具体的に示していただきたい。	本市の現状として、薬物乱用や性に関する問題では、警察との連携を図っている。学校においても、外部の専門家の方々に来ていただいて話を聞くことや、特に性に関する問題では、オンラインゲームでアイテムが欲しいがために自分の裸の写真を送るなど、全国的な問題に触れながら、そういうことをしていないかと、子どもたちにあえて問いかけをしていただいたりしている。また、保健体育等の学習指導要領の中でも、昨今の社会情勢を踏まえた学習内容が示されており、各学校で実践をしている状況である。教育委員会としては、研修会の実施などにより、学校の支援に努めている。	性の問題については、性に対する正しい知識や生命を尊重する心を養うため、今後の方向性において、「性の多様性への理解」を記載しており、健全で正しい考え方や行動ができるよう計画的に指導してまいります。 また、本市の現状として、薬物乱用や性に関する問題では、警察との連携を図り、学校においても、外部の専門家による事例紹介や子どもたちへの問いかけを含む授業などを実施しています。さらに保健体育等の学習指導要領の中でも、昨今の社会情勢を踏まえた学習内容が示されており、各学校で実践をしている状況です。今後も、引き続き取り組みを実施するとともに、教育委員会による研修会の実施等により、学校の支援に努めてまいります。	なし
9	意見 シート	P23・24	1-4 健やかな体の育成・今後の方向性「保健教育・食育の充実」	課題の3点目には、「子どもたちが生涯を通じて心身の健康を保持増進するために、子どもたちをめぐる「感染症」「薬物乱用」「性に関する問題」等の複雑化・多様化する現代的な健康課題への対応が求められています。さらに、性の多様化への理解等、包括的性教育の推進が必要です。」と書かれていますが、今後の方向性については、具体性が見えてきません。 特に、「感染症」(例えば、梅毒等)「薬物乱用」(例えば、オーバードーズ等)「性に関する問題」(例えば、LGBTQ's等)は、緊急課題として今後どのように取り組んでいこうと考えているのか、示していただきたい。	-	委員のご意見を踏まえ、「施策を取り巻く状況」と「課題」に分けて記載します。【計画素案P27】	あり
10	意見 シート	P27	2-1 多様なニーズに対応した教育の推進・施策を取り巻く状況3点目	「日本語指導補助員・支援員の人材が不足している」というのは課題ではないでしょうか。ここだけ他のページの施策を取り巻く状況とちがう感じがします。	-	委員のご意見を踏まえ、より分かりやすく伝わるよう「関係機関と連携しながら必要な支援を…」に文言修正します。【計画素案P27】	あり
11	意見 シート	P27	2-1 多様なニーズに対応した教育の推進・課題2点目	「…必要な支援に関係機関と連携しながら慎重に進めていくことが必要」は「…必要な支援を…」か「…必要な支援につなげるよう関係機関と…」ということですか。	-	委員のご意見を踏まえ、「外国にルーツのある子ども」で統一します。また、後半部分については、「市民が」という主語を追記します。【計画素案P27】	あり
12	意見 シート	P27	2-1 多様なニーズに対応した教育の推進・課題5点目	「外国にルーツを持つ子ども」は「外国にルーツのある子ども」で統一したほうが良いと思います(他の箇所では外国にルーツのあるとなくなっていました) また、「さまざまな国の文化を理解し…」の主語を明記したほうがわかりやすいと思いました。(このままでは外国にルーツのある子どもたちが主語だと感じます)	-	委員のご意見を踏まえ、「外国にルーツのある子ども」で統一します。【計画素案P28】	あり
13	意見 シート	P28	2-1 多様なニーズに対応した教育の推進・今後の方向性「多文化共生教育の推進」3点目	「外国にルーツを持つ子ども」は「外国にルーツのある子ども」で統一したほうが良いと思います。(他の箇所では外国にルーツのあるとなくなっていました)	-		あり

No	区分	頁	該当箇所	ご意見・ご質問の内容	【参考】第1回会議における担当課回答内容	ご意見・ご質問に対する回答／ 計画素案修正有無の考え方	計画素案の 修正の有無
14	意見 シート	P29	2-2 教育相談および教育 支援体制の充実 ・今後の方向性－「相談・支 援体制の充実」	「関係機関をはじめ、スクールカウンセラー、スクールロイヤー、スクー ルソーシャルワーカーなどの専門家と連携した相談・支援体制の充実 を図ります」とありますが、現在、小学校・中学校等では、具体的にどの ように行われているのか、教えていただきたい。	－	・スクールカウンセラーについては、小学校で年間12回、中学校で 年間34回配置しており、児童生徒や保護者へのカウンセリングや 教職員へのコンサルテーションを実施し、校内巡回や校内ケース会 議等を通して課題の早期発見・早期対応、課題の改善につなげて います。 ・スクールロイヤーについては、各学校において対応に苦慮する事 案の法律相談を毎月1回実施しており、事案の早期解決につなげ ています。 ・スクールソーシャルワーカーについては、特にニーズの高い8中学 校区に週1回、6時間配置し、子どもや保護者の相談・助言等を行っ ています。また、派遣型のスクールソーシャルワーカー・スーパーバ イザー(SSWSV)が1名おり、巡回指導を行っています。	なし
15	第1回 会議	P31・32	3-1 人生100年時代を見 据えた生涯学習社会の実 現	生涯学習社会の実現は色々な形で進行中だが、新しく発生する問題や 課題に対しては、大人側も学ばないといけないところがある。 何が問題なのかということや地域ぐるみで知り、考え、何ができるか という流れの中に学びが活きるような地域をつくっていかないと、社会 がよくなる、八尾はよくなると思う。その中に、例えば、問題 になっている様々な課題に対応するような図書を図書館に置いたり、 市民が本を手にして、もっと詳しい話を聞きたい、それが関連する生 涯学習の講座などにつながり、さらにもっと学びたいと思われた方が グループをつくるなどにつなげていく。このような生涯学習の方向性 がこれからとても求められていくと思う。	－	市民が主体的に日常生活における課題を発見できるようきっか けづくりや課題解決に向けた講座等を開催することは、生涯学習 社会の実現にとって重要であることを踏まえ、市民のニーズに応 じた学習機会の創出を図るとともに、学んだ成果を地域で活かす ことができる場を創出し、地域の活性化につながる人材育成と交 流が生まれる仕組みづくりを進めてまいります。	なし
16	意見 シート	P31	3-1 人生100年時代を見 据えた生涯学習社会の実 現 ・これまでの主な取り組み 2点目	「学んだ知識や成果を地域に還元できるよう、人材バンクである「まち のなかの達人」への登録及び情報発信等により、地域で活躍できる環 境づくりを進めました。」とありますが、それらを踏まえて、生涯学習社 会の実現を目指して、どのような方策を考えているのか、具体的に示 していただきたい。	－	本計画は大きな方向性を示すものであり、具体的な取り組み内容 まで触れませんが、生涯学習社会の実現に向けて、市民が学びの 成果を他者へ還元でき、さらに地域の活性化、コミュニティづくり や課題解決に活かしていけるよう、生涯学習で学んだ知識や技能 などを活かす機会を提供するとともに、自ら積極的に発信できる 場や仕組みづくりを進めてまいります。	なし
17	意見 シート	P32	3-1 人生100年時代を見 据えた生涯学習社会の実 現 ・今後の方向性－「図書館 サービスの充実」2点目	図書館4館がどう全域サービスにつながるのかわかりにくいです。	－	委員のご意見を踏まえ、より分かりやすく伝わるよう「市内全域へ サービスを提供するため、図書館4館及び図書館から離れた地域 に移動図書館車による巡回を行い、サービスの充実を図ります」に 修正します。	あり